



# ゆり地域支援だより

令和3年11月9日発行 第3号 秋田県立ゆり支援学校 地域支援部

## 言葉にしなくても伝わるもの

ゆり支援学校 教頭 近藤 郁

『しゅくだい』という絵本をご存じでしょうか。

もぐらのもぐくんが通う学校で、ある日、やぎのめえこ先生が出した宿題は「だっこ」。でも、もぐくんは赤ちゃんが生まれて忙しいお母さんに、なかなか宿題のことを言い出せません。そのことを知ったお母さんは喜んでだっこします。お父さんやおばあちゃんにも宿題を手伝ってもらったもぐくんは、その夜ぐっすり眠ります。そして、翌日の教室には、いつも以上に元気な顔がたくさん並んでいました。というお話です。忙しくしているお母さんに、宿題のことを言い出せないもぐくん。ぎゅーっと抱っこしてもらって、うれしくてたまらないもぐくん。このふたつの表情に、胸がいっぱいになります。

「子どものことをほめてください。」「良いところを見つけてください。」「認めてあげてください。」とよく言われますが、言葉にするのが難しいこともあります。子どもをほめたり認めたりすることは、態度や行動でも伝わると思います。「あなたのことを大切に思っているよ」という気持ちが子どもに届くように、いろいろな方法でチャレンジしてみてはいかがでしょうか。

先日、本校の職員研修会で『しゅくだい』の読み聞かせを行いました。大人の読み聞かせも、たまにはいいですね。

### <学校行事の様子をスナップで紹介> ゆり支援フェスティバル (10/23)



高等部  
なまはげ太鼓



小学部  
ふしぎハンター



高等部  
いやさか秋田



中学部  
新本荘追分

## 授業の紹介（国語）

ゆり支援学校では教科・領域を合わせて指導を行うことが多いのですが、教科指導の力が土台になると考え、よりよい授業づくりや指導力の向上を目指し、教科指導の研究にも力を入れています。

写真は小学部（6年生）の国語の授業の様子です。「少人数学習グループにおける思考を深めるための指導の在り方」を視点にして授業を進めました。

この授業（題材構成）は、由利本荘市教育委員会の大庭珠枝指導主事に助言をいただきながら進めました。支援を必要とする児童が在籍する通常学級や、特別支援学級における指導にも生かせる内容になったと考えています。この題材に限らず、今後、地域の関係機関とも連携しながら、教科指導に関する相談などにも対応していくことを目指します。お気軽にお声がけください。

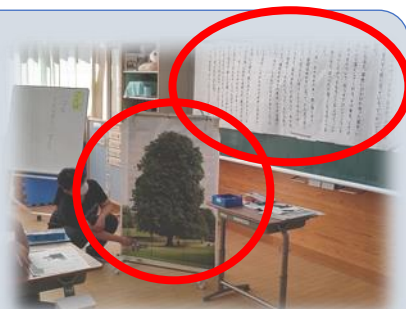


### 体験的な活動（動作化）の取り入れ

題材：物語を読みましよう(大きなあめ玉)より「びくとも動かない」



子どもと一緒に作る板書



拡大本文の掲示と活用  
実物を写真で提示



### 板書の工夫

題材：物語を読みましよう(モチモチの木)より「やい、木い」の場面

## 自立活動の授業づくり Q&A

### Q1. 自立活動の授業づくりをする上で、気を付けていることは何ですか？

学習上・生活上の困難を軽減したり克服したりできる時間になるようにしています。児童・生徒の実態から、背景にあるものを考え、何を指導するのかを明確にするようにしています。

### Q2. 小・中学校、高校で自立活動を取り入れる際のアドバイスをお願いします。

児童・生徒の課題（困り感）の背景を探ることが大切です。例えば、相手を傷つけることを言う児童・生徒がいた場合、言わないように言葉をかけるだけでなく、その背景要因を探ってみましょう。

### Q3. 自立活動を進める上で、役に立つ資料があったら教えてください。

本校では「自立活動実践集（ゆり支援学校自立支援活動プロジェクト 編集）」を校内用に発行しています。興味のある方には開示できる部分を提供することができますので、お気軽にお問い合わせください。

先生方のお悩みや疑問にお答えします。  
ご連絡、お待ちしております。

秋田県立ゆり支援学校 地域支援部

TEL : 0184-27-2631

E-mail: [yuri-s@akita-pref.ed.jp](mailto:yuri-s@akita-pref.ed.jp)

